

博物館展示論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 下の文章の①～⑤に該当する適切な語句を下の□のア～エからそれぞれ選択し、文を完成させなさい。なお、解答欄にはア～エの記号を記しなさい。(同じ番号には同じ語句が入る) (各2点)

(①) は、(②) が収集しフランス政府より日本に寄贈返還されたフランス近代美術を中心とする作品を収蔵・公開するための機関として、1959年に設立された。本館は(③) の設計によるもので、2016年には(①) は(④) に登録された。同館の展覧会では、とりわけ1964年の「(⑤) 特別公開」や1994年の「バーンズ・コレクション展」が多くの来場者を集めている。

- | | | | | |
|---|---|-------------|---|-----------|
| ① | ア | 神奈川県立近代美術館 | イ | ブリヂストン美術館 |
| | ウ | 大原美術館 | エ | 国立西洋美術館 |
| ② | ア | 林忠正 | イ | 岡倉天心 |
| | ウ | 松方幸次郎 | エ | 石橋正二郎 |
| ③ | ア | ヴァルター・グロピウス | イ | ル・コルビュジエ |
| | ウ | 丹下健三 | エ | 安藤忠雄 |
| ④ | ア | 重要文化財 | イ | 国宝 |
| | ウ | 日本遺産 | エ | 世界遺産 |
| ⑤ | ア | ミロのビーナス | イ | モナ・リザ |
| | ウ | 民衆を導く自由の女神 | エ | ゲルニカ |

2. 下の文章のア～オに該当する適切な語句を書き、文を完成させなさい。なお、(オ)には解答用紙の□の中に、それぞれ適切な語句を書きなさい。(同じ記号には同じ語句が入る)(各2点。オは完答で得点とする。)

西洋美術の絵画が主に額縁に収められて展示されるのに対し、日本美術には様々な形状がみられる。床の間にかけて鑑賞できるように仕立てられた(ア)は、茶の湯の隆盛にともない発展した。(ア)の素材は湿気や乾燥に弱いため、温度湿度の管理、光の調整、および展示期間への考慮は不可欠であるが、収納性に富んでおり桐箱などに丸めて収めることで質を保つことができる。同じく丸めて保管できる(イ)は横長の形式に書かれたものである。絵画の場合、右から左への時間経過をとまって描かれる。(ア)が水平に見られるよう展示されるのに対し、(イ)は机または台の上に置かれた形で展示される事例が多い。

尾形光琳の国宝「燕子花図」の形状は(ウ)である。木枠に紙や布が貼られたパネル状のものは、一(エ)として数えられるが、それら六つ連なったものがペアで構成される作品は(オ)と表記される。(ウ)は室内の仕切りを果たす調度でもあり、同じく仕切りである襖は建具として実用的な役割をもつ。

3. ①レプリカにおける「現状複製」と「復元複製」の違いについて、また、②いずれにせよオリジナル(原物)ではなくレプリカを展示する場合の利点について、①・②合わせて300字程度で述べなさい。(25点)

4. 近年、美術館・博物館の会場に設置されるサイン等において、英語・中国語・韓国語をはじめ、多様な言語表記が望まれている。対応言語数が多いことは、資料・作品にかかわる情報をより広く伝える上では有効であるが、展示上における問題が生じる場合もある。多言語表記にはどのような問題があるか250字程度で述べなさい。(25点)

5. 平常展示(常設展示)の在り方について、「恒久展示」と「展示替え」という二語をキーワードにして、400字以上500字以内で論じなさい。(30点)